



2023年5月11日

各位

会社名 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社  
代表者 取締役社長 荒木 直也  
(コード番号：8242 東証プライム)  
問い合わせ先 執行役員 吉松 宏之  
(TEL 06-6365-8120)

## 2023年3月期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2022年11月2日に公表いたしました2023年3月期連結累計期間(2022年4月1日～2023年3月31日)の業績予想と、本日公表の同実績との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 2023年3月期連結累計期間の業績予想数値と実績との差異 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	640,000	9,000	10,000	11,000	89.27
実績値 (B)	628,089	11,388	13,004	16,382	135.85
増減額 (B-A)	△11,910	2,388	3,004	5,382	46.58
増減率 (%)	△1.9	26.5	30.0	48.9	52.2
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	518,447	740	2,346	9,872	79.84

#### 2. 業績予想と実績との差異の理由

2023年3月期連結累計期間(2022年4月1日～2023年3月31日)における当社グループの連結業績は、阪急本店が過去最高売上高を達成するなど百貨店事業において売上高が大きく伸長しましたが、主に食品事業における前年のコロナ禍の内食需要増大の反動や物価上昇による消費者心理への影響により、売上高は前回発表予想をやや下回る結果となりました。一方で、光熱費が高騰したものの、百貨店事業における宣伝費の効率化、食品事業における業務標準化・省力化への取り組みを通じたコスト削減に努めた結果、営業利益及び経常利益は前回発表予想を上回りました。また、資産売却及び業績回復に伴う税効果の見直しも加わり、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表予想を大きく上回りました。詳細は、本日公表の「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

以上